

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 4 月 14 日 (2005.4.14)

【公開番号】特開 2001-52011 (P2001-52011A)
【公開日】平成 13 年 2 月 23 日 (2001.2.23)
【出願番号】特願 平 11-224240
【国際特許分類第 7 版】
G 0 6 F 17/30
【F I】

G 0 6 F 15/40 3 7 0 B
G 0 6 F 15/401 3 1 0 A
G 0 6 F 15/403 3 5 0 C

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 6 月 9 日 (2004.6.9)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項 7
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項 7】

前記複数の画像データと各画像データの特徴量を対応づけて格納する格納手段を更に備え、

前記格納手段に格納される特徴量が不要領域を除去した画像について算出されたものである

ことを特徴とする請求項 1 に記載の画像検索方法。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項 8
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項 8】

前記検索工程は、前記算出工程で算出された特徴量と前記格納手段に格納された特徴量に基づいて画像間距離を求め、求められた画像間距離に基づいて類似画像を抽出する

ことを特徴とする請求項 7 に記載の画像検索方法。

【手続補正 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項 9
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項 9】

前記検索工程は、前記画像間距離の近いものから順に所定個数の画像を類似画像として抽出する

ことを特徴とする請求項 8 に記載の画像検索方法。

【手続補正 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項 18
【補正方法】変更
【補正の内容】

【請求項 18】

前記複数の画像データと各画像データの特徴量を対応づけて格納する格納手段を更に備え、

前記格納手段に格納される特徴量が不要領域を除去した画像について算出されたものである

ことを特徴とする請求項 12 に記載の画像検索装置。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 19

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 19】

前記検索手段は、前記算出手段で算出された特徴量と前記格納手段に格納された特徴量に基づいて画像間距離を求め、求められた画像間距離に基づいて類似画像を抽出する

ことを特徴とする請求項 18 に記載の画像検索装置。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 20】

前記検索手段は、前記画像間距離の近いものから順に所定個数の画像を類似画像として抽出する

ことを特徴とする請求項 19 に記載の画像検索装置。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

図 7 は、本実施形態による画像間距離の計算手順を説明するフローチャートである。図 7 において、ステップ S71 で変数 $m i n$ 、 n を値 0 で、 L を十分大きな値で初期化し、ステップ S72 で変数 i 、 $S(n)$ を値 0 で初期化する。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施形態による画像検索処理を実現するコンピュータシステムの構成を示すブロック図である。

【図 2】

本実施形態による画像検索処理の大まかな流れを示すフローチャートである。

【図 3】

ステップ S21 において表示装置 103 に表示される操作画面例を示す図である。

【図 4】

不要な枠部分を除去する様子を示す図である。

【図 5】

本実施形態による特徴量算出処理を説明するフローチャートである。

【図 6】

本実施形態による領域毎の R , G , B 値の平均値算出方法を説明するフローチャートである。

【図 7】

本実施形態による画像間距離の計算手順を説明するフローチャートである。

【図 8】

本実施形態による類似画像の選択手順を説明するフローチャートである。

【図 9】

ステップ S 2 4 において表示装置 1 0 3 に表示される操作画面例を示す図である。